

『財界さっぽろ 2021 年 11 月号』の掲載記事について

このたび、『財界さっぽろ 2021 年 11 月号（2021.10.15 発売）』に掲載された当学園並びに真宗大谷派北海道教区に関する記事につきましては、先般『財界さっぽろ』担当記者の取材を受け、当学園として真摯に質問に答え、説明を尽くしました。しかし、遺憾ながら事実と異なっている点、若しくは、誤解を生じさせる内容が含まれております。

確かに、本学園と北海道教区との間では、立場の違いから、教育振興や学園の運営充実、あるいは組織構成や人事に関する見解に相違があることは事実ですが、双方ともに「建学の精神」を教育の柱として教育活動を推進するという点において意見の対立はございません。本年度からの新たな理事体制においても、本学園と北海道教区のさらなる相互理解と連携の適正化を推進する方向性を確認しております。

上記のことをご理解いただきますよう、本学園並びに北海道教区の連名のもと、『札幌大谷』は「園児・生徒・学生」を教育の中心に据え、真宗大谷派の宗祖親鸞聖人のみ教えを「建学の精神」として、115 年を超える歴史と本学園に関わってこられた有縁の方々の願いを大切にしてい、今後も歩んでまいりますことをここに表明いたします。

2021 年 10 月 15 日

札幌大谷学園 理事長 加藤久豊

北海道教区会副議長・教区派遣 札幌大谷学園 理事 石川誠丈

北海道教区派遣 札幌大谷学園 理事 松本達也